



# 北海道大学

## 新たな地方創生 in 津別 成果報告会

～北海道大学の学生団体「HALCC」による～

平成30年12月8日



北海道大学

# HALCCの概要の説明

担当：学生団体「HALCC」代表 岡田雅文

# HALCCの誕生の契機

HALCC 3rd Season

平成28年3月 津別町まちづくりアイデアコンペで、  
当時の北大公共政策大学院の2年生の2人が優秀賞！

他の学生も巻き込み、  
学生が主体的に  
地方創生に考える団体



Hokkaido Academic Local Creation Conference



北海道大学

# 今までの活動

HALCC 3rd Season

<1期目(平成28年度)> 6人×3班=18人

- 津別高校を魅力化させるアイデアの提案
- 津別町の特産物の新しい販売戦略の考案 など

<2期目(平成29年度)> 8人×2班=16人

- 津別高校生1,2年生と町の魅力を考えるWS
- ゆるキャラ「まる太くん」のLINEスタンプの考案 など

※活動詳細は津別町HPでご確認をお願いいたします



## 学生主体



研究室(ゼミ)による委託研究

- 自由な発想で政策提言
- 学部1年生 ~ 大学院修士2年
- 法学部・文学部・教育学部・工学部など多様な学部

メンバーの知識のインプットは？



小磯先生による講演会



北海道大学

## 過去最多の26人

## 実践的な内容

## &lt;若者議会班&gt;

8人

- 津別高校生5人とともに津別町の未来を議論

## &lt;北大マルシェ&gt;

9人

- 津別高校生8人とともに津別町の特産物の販売方法を考え、北大構内で販売

## &lt;津別留学&gt;

8人

- 津別町の観光施設を活かした自然体験型教育プランの考案



# 今年度の主な活動スケジュール

HALCC 3rd Season

	若者議会班	北大マルシェ班	津別留学班
8/21(火)	みらいワーク(津別高校生1・2年生を対象とした自分や津別町の未来を考えるワークショップ)&企画説明・募集		—
9/23(日)	第1回議会	—	—
9/24 (月・祝)	第2回議会	第1回ワークショップ	—
10/6(土)	—	—	津別町での フィールドワーク (その後、ヒアリング やアンケートの実施)
10/7(日)	—	—	
10/8日 (月・祝)	第3回議会	第2回ワークショップ	
10/20(土) ~21(日)	—	高校生の北大見学& 販売	—
11/17(土) ~18(日)	高校生の北大見学& 第4回議会	—	—



学生のアイデアを  
是非お聞きください！

つべらないね！



# HALCCの活動について ～みらいワーク～

## 活動の日時

8月21日  
13:00～15:10

## 活動の参加者

津別高校 1年生  
および 2年生

# HALCCの活動について ～みらいワーク～

## 活動の様子



- ①  
まちの現状を考える
- ↓
- ②  
将来的な理想像を考える
- ↓
- ③  
現在と理想像の乖離点の発見
- ↓
- ④  
乖離点を埋めるための提案

# HALCCの活動について ～みらいワーク～

## 計画のプロセス～計画作成の基本構造～

### 現状分析

「現状はどうなっているのか」

### 理想分析

「目指すべき状況はどのようなものか」

「なぜそれを目指すのか」

### 原因分析

「理想と現実が離れている理由はなにか」

「理想と現実の乖離は本当に問題なのか」

### 計画作成

計画実行によって本当に改善が図れるか

計画は本当に実行が可能であるか

# HALCCの活動について ～みらいワーク～

## 発案の方法

### 今回用いた手法

- ①ブレインストーミング
- ②ノンストップライティング

# HALCCの活動について ～みらいワーク～

## 発案の方法

### ブレインストーミング

目的：集団で意見を出し合うことで、相互作用による意見の連鎖反応を生み出す。

方法：意見を出し合い、それぞれの意見を抽象化し、アイデアの整理を行う。

# HALCCの活動について ～みらいワーク～

## 発案の方法

### ノンストップライティング

目的：誤字・文法・内容を度外視して、頭の中にあるものや、思考をストップさせるものを探す。

方法：手を止めずに、とにかく思いついたことを書き連ねる。